

# ながしま 議会だより

Nagashima town Assembly News

№.54

第4回臨時会 〈H30.11.12〉

12月定例会 〈H30.12.7～12.18〉

町内各地で鬼火たき  
1年の無病息災を願う

臨時会・定例会で決まったこと ②  
町政を問う（一般質問） ⑤  
2つの委員会で議案等審査 ⑭  
研修報告 ⑰

## 平成30年度の一般会計予算を

# 9396万9千円減額

総額121億8759万5千円

長島町議会は平成30年第4回長島町議会臨時会を11月12日に開会し、町立小中学校の校務用パソコンの売買契約の締結の議案1件を可決した。

また、平成30年第4回長島町議会定例会は12月7日から18日までの12日間の会期で開かれた。

平成30年度の一般会計補正予算は公有財産購入費や道路新設改良費を増額。風の杜こども園認定こども園施設整備事業やエグチベジフル(株)農産物集出荷貯蔵施設整備事業を減額。総額121億8759万5千円(9396万9千円減額)とした。その他、9つの特別会計補正予算、長島町税条例の一部を変更する条例など議案24件を可決した。

また、平成29年度長島町決算を認定した。

平成30年度の一般会計補正予算のほか、国民健康保険、国民健康保険診療施設、へき地診療施設、介護保険、簡易水道、農業集落排水、漁業集落環境整備、特定地域生活排水処理、観光施設の9つの特別会計補正予算を原案可決した。

今回、計上された予算の主な事業は次のとおりです。

### 主な事業

土地開発基金保有分の指江・唐隈の土地購入費	16,571千円
県議会議員選挙に係る費用	3,700千円
だんだん市場前信号機設置に伴う道路区画線改良工事費	2,915千円



指江庁舎駐車場用地造成工事費

7,137千円



関西かごしまファンデー開催委託料  
(写真はH30)

2,000千円



総合運動公園整備事業  
(多目的広場周辺法面石張工事)

20,602 千円



汐見漁港浚渫工事

7,021 千円

### 条例

#### 税条例の改正

軽自動車税の賦課徴収に係る事務の効率化及び納税者への負担軽減を図るため、軽自動車税の納期「4月11日から同月30日」を「5月1日から同月31日」に変更するなど、条例の一部を改正した。

#### 農業委員会の委員等の定数条例の改正

農地利用最適化推進委員を拡充し、認定

### 契約

#### 獅子島港の港整備

獅子島港（立石地区）2工区に、浮棧橋付帯発泡スチロール＋RC製コンクリートで製作したものと、既設の連絡橋をそれぞれ据え付けるため8748万円でティエス株式会社と契約締結していたが、工種内容に変更が生じたため、8070万2千円（677万8千円減額）に変更契約することを議決した。

### 契約

町立小中学校に配置している校務用パソコンが更新時期を迎え、パソコン170台を購入するため、1064万8,800円で株式会社南日本情報処理センターと売買契約の締結することを議決した。

### 定例会で決まったこと

### 臨時会で決まったこと

### その他

#### 過疎地域自立促進計画の変更

長島町過疎地域自立促進計画の一部に追加及び変更が生じたため、過疎地域自立促進特別措置法の規定により、計画の一部を変更した。

#### 町道路線の変更

県道長島宮之浦港線道路改良事業に伴い、鹿児島県から長島町へ引き継がれる県道部分を町道曲田線<sup>まがりた</sup>として管理するため、町道曲田線の起点を変更した。

#### 給与条例等を改正

人事院や鹿児島県人事委員会の勧告に基づき、「長島町職員の給与に関する条例」、「長島町町長等の給与等に関する条例」、「長島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部を改正した。

農業者等担い手農業者への農地集積・集約の推進を図るため、農業委員会の委員の定数を19人から15人に改め、農地利用最適化推進委員の定数を「8人以内」から「11人」に改めた。

# 町政を問う

# 一般質問



## 一般質問とは・・・

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねることです。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけではなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動です。

平成30年第4回定例会（12月）では次の9人の議員が質問をしました。

### 1 前田 穂 (5ページ)

- ・新築予定の鷹巣診療所の医療機器の更新は
- ・台風接近に伴う避難所の開設状況と課題および見直し対策は

### 2 林 誠治 (6ページ)

- ・山門野3集落のよりよい合併のために
- ・長島町総合振興計画鷹巣地区のまちづくり

### 3 二階堂 猛 (7ページ)

- ・バレイショの革新的種苗生産の取組状況は

### 4 上筋 睦雄 (8ページ)

- ・長島に適した交通システムの構築を
- ・防災・減災対策を問う
- ・磯焼け浜の再生を

### 5 古田 一博 (9ページ)

- ・町有地の有効活用について問う
- ・学校特別支援員の現状を問う

### 6 池田 安彦 (10ページ)

- ・水産種苗センターの今後の取り組みを問う
- ・獅子島に救命救急艇を導入できないか

### 7 小田 勝志 (11ページ)

- ・119番通報について
- ・ふるさと納税について
- ・雇用対策について

### 8 兒玉 誠 (12ページ)

- ・長島版総合戦略の状況は

### 9 竹山 司郎 (13ページ)

- ・小中学校施設整備を早急に
- ・針尾公園整備を問う
- ・甘薯の貯蔵庫整備に補助を

## 前田 穂議員



### 新築予定の鷹巣診療所の医療機器の更新は

鷹巣診療所の特色・目玉は、MRIとCTの先端の医療機器がある。

ることである。この医療機器のお陰で多くの町民の生命が救われている。

機器の耐用年数は、メーカーによると8年から10年といわれている。新築する2年後には、MRIが16年とCTが10年を迎えることになる。その上、これらの機器には法定検査が毎年実施され、15年

で更新できなくなる。買い替えかオーバーホールしなければならぬ。移設費が1500万円かかる。この際、新築と一緒に医療機器の更新はできないか。

**町長** 鷹巣診療所の新築の補助金は、まだ不透明な部分もあり、決定次第診療所の新築を大前提に考えている。総事業費を含め、来年度に基本的方向性が示せると思う。

医療機器には補助金制度がない上、使えない状況が起きては決していけない。そこで点検し、急ぐもの、少し待てるものに仕分けし、それから診療所の経営状況を見ながら対応したい。いずれにしても、人命に関わることについては最優先すべきであると考えている。

### 台風接近に伴う避難所の開設状況と課題および見直し対策は

ドセンターの4箇所。③3回の開所で55世帯60人が利用した。

#### 前田議員

地球温暖化により、台風は大型になり、上陸・接近のたびに町では避難所を開設している。①どんな基準で設置するのか。②設置場所は何箇所か。③利用者は何人いたか。問う。

**前田議員** 今後見込まれる対策として、①大字ごとに避難所開設ができないか。②高齢者を含めた要援護者対策として送迎バスの運行ができないか。③海岸にある避難所の高潮対策は。①大字ごとの避難所開設は職員・消防団員等の配置の問題があり、台風の規模、進路に応じた対応をした。②要援護者対策の送迎バス運行は重要な問題であり、事前に連絡していただければ対応したい。③高潮が予想される場合には高台に避難所を開設するようにする。一人の犠牲者も出さないため、町と住民が一体となって取り組むべきである。

**前田議員** 第5回行政報告会において、町民が待望していた鷹巣診療所の新築計画が報告された。これまで診療所新築には国の補助金がなく、厚労省の調整交付金3700万円で済んでいる。しかし今回、木材利用すると、補助対象額の4億円の2分の1補助が林野庁にあり、現在、県と協議中で31年度に予算化できる見込みであると報告があった。



↑現在の鷹巣診療所

②避難所は開発センター・文化ホール・川床コミュニティセンター・獅子島アイラン

林 誠治 議員



山門野3集落のよ  
りよい合併のため  
に

**林議員** 山門野3集落は、来年3月自主合併を目指して話し合いを進めている。

そこで合併の大きな課題である次の4点について町長による解決策を伺う。  
**合併優遇制度の見直し**を

- ①合併4年目以降、削減される行政連絡員報酬、太陽光交付金の均等割の縮減廃止を。
- ②自治公民館を新築す

して欲しい。

**町長** 合併の必要性は強く認識している。

行政主導でなく、自主再編を基本に、必要な支援は積極的に行う。

- ①合併集落の負担軽減を図る優遇制度を基本に、課題解決、自主合併の実現策を協議する。
- ②自治公民館建設補助金の上限は1200万円であるが、合併に伴い改修した田尻公民館の事例もあるので、個別に話し合う。
- ③山門野集落の公民館建設負担金の解消と町有施設の有効活用観点から、山門野コミュニティセンターを無償譲渡する提案をしている。



↑老朽化した山門野中央公民館  
↑駐車場の拡張が望まれる山門野分団消防詰所

公民館活用には施設内外の改善の要望が多くあるので対応する。

- ④町において、山門野中央公民館の解体は難しい。ただ、消防詰所は公共施設であり、消防車の出動、総員訓練場所として狭隘で支障があるなら、町民の理解が得られるのでは。

これまでの要望を含め、山門野3集落の自主合併の実現には最善の支援策を協議していく。

長島町総合振興計  
画鷹巣地区のまち  
づくり

**林議員** 町総合振興計画の鷹巣地区の町づくりに「社会体育施設を活用した交流人口の増加」が明記されている。

平成32年度完成予定の総合運動公園を見据えた整備について伺う。

- ①運動公園一帯に鷹巣各団地の老朽化住宅を移築し、若者にも魅力ある住宅団地の形成を。
- ②鷹巣ダム周囲の雑木を伐採し、開放的な水辺環境整備、一周ウォーキングロード整備を。
- ③総合運動公園に命名権を付与し、施設の維持管理費に。

**町長** ①鷹巣地



↑総合運動公園全体計画平面図

区には公営・町営住宅が32棟ある。老朽化住宅を集合住宅に建て替え、若者に魅力ある住宅団地を造成し、定住促進に繋げたい。

②総合運動公園は町民の健康増進、体力向上のため、さらに施設内外の活用でスポーツ合宿、交流人口増加を目指す。

③総合運動公園の命名権は施設管理費、全国に発信する手段として有効であるので検討する。

二階堂 猛 議員



バレイシヨの革新的種苗生産の取組状況は

**二階堂議員** 現在、バレイシヨ生産は、長島町では年間50億円を超える販売実績である。

そのような中、長岡技術科学大学との間で種苗の開発に取り組み、れることに至った経緯について伺う。



↑試験栽培中のバレイシヨ

**町長** 長岡技術科学大学に出水高校出身の教授がおり、平成27年に

来町された時に、本町のバレイシヨ生産の話題になった。その中で、北海道の種芋を使用し

ているが、産地では病害虫の発生や風水害などで種芋の生産に苦労されていると伺っていた。

そこで、長島で種芋が生産できれば、安定した所得につながるのではないかと考え、依頼した。

現在の取組状況は

**二階堂議員** これまでに試験栽培において、

植付け直後の様子と、12月初めの生育状況を見せていただいた。現在の状況は。

**町長** 29年度にマンダリンセンターのガラスハウス栽培で、種芋から生長点培養した苗を挿して植えた。

その種芋を6月に植付けて、12月7日に収穫したところ、1株にMからLサイズが5個から8個着いていた。

今回、その種芋を1回冷蔵庫で休眠させ、9月にもう1回植付け、次年度の5月頃に収穫予定。

大学が期待する、現在までの種芋の1・5倍の収量があるのか実証したい。

委託料等の内容は

**二階堂議員** 現在までに2500万円が補助

金や委託料、交付金として支出されているが、その内容は。

**町長** 28年度の200万円は、町の種苗センターでの人工光源の電気が必要としない種芋の栽培ができないかの実証実験のため。

29年度の1000万円のうち950万円は、長岡技術科学大学が種芋の生産方法を現地実験圃場<sup>ほしやう</sup>で確立・実証する目的での旅費や

今後の見通しは

人件費、機材、消耗品等である。残り50万円は、鹿児島高専が同様の目的で使っている。

30年度は種苗研究費として797万6千円。その他、地方創生推進交付金580万円のうちハード事業で200万円を自給体制構築プロジェクトとし、

クリーンベンチ等の機材を導入する。ソフト事業では長島フェスタで長岡技術科学大学の<sup>まきしんや</sup>牧慎也特任准教授の特

別講演と、料理教室やコンテスト等の広告料としての360万円である。

講演会の内容

- ウイルスフリー苗の利点を知っていますか？
- ウイルスフリー苗・種イモを使用すると収量が2割上がります。
- ウイルスフリー苗・種イモの作製方法などわかりやすく解説します。

日時 12月2日(日)

時間 10:30~11:30 (長島フェスタ会場 体育館内)

講師のご紹介

高岡技術科学大学 特任准教授  
食料科学イノベーション専攻  
**牧 慎也 氏**

◆所属  
 ● 1986.04.21 鹿児島県鹿児島市  
 ● 2008.04.21 鹿児島大学大学院 農学修士  
 ● 2010.04.01 鹿児島大学 農学博士  
 ● 2010.02.26~03.26 United States Department of National Defense Research Agency (USDA) Fellow  
 ● 2015.03.01 鹿児島大学 農学博士(学位取得)

↑長島フェスタで開催された長岡技術科学大学の牧特任准教授による講演

上筋 陸雄 議員



## 長島に適した交通システムの構築を

上筋議員 9月議会

で「交通弱者対策」について質問した。長島町に適した交通システムの構築について、研究の進捗状況、来年度以降の予算措置、運用開始時期の見積等を伺う。

他の自治体の状況、ドア・ツー・ドアの交通システムを始めた理由は、交通や買物等に不便であった。また、「交通弱者対策」としてだけでなく、住民、観光客の利便性向上、町づくり計

画との整合、交通業者に配慮した共同運行など行っているところもある。

新しいビジネスモデルとして研究し、実施する価値もあると考えるが。

**町長** 3箇月しか経っておらず、研究を続行中である。他の自治体の実施状況の調査や、バス会社など、交通事業者との協議を重ねていきたい。

結果的に平成31年度の予算編成には難しいと認識している。スクールバスについては、バスを貸してく



↑オンデマンド交通のイメージ

れ、運行してみたいという集落があれば話し合うので、ぜひ探して欲しい。

## 防災・減災対策を問う

**上筋議員** 幸いなことに、我が町は全国にも誇れる有能な消防団を有しており、いざとなれば適切に対応してもらえるものと確信している。加えて予防対策、

措置が整えば、さらに安心は確保されるものとする。

その根拠は、平成19年に出された長島町防災計画によることと考えるが、気象予察、避難指示の発令手順等改めるべき事項も多々あるようである。

発令基準に時間的要素を加えたり、大雨に弱いと考えられる箇所調査、措置、例えば脇崎の人家裏斜面の樹木伐採後の崩落防止、山中地区の多目的広場造成地の強度計算、浅くなった小浜川の浚渫等も急ぐべきと考えるが。

**町長** 時間的要素の取り入れ、脇崎、小浜川の寄州等、今後考えなければならぬ。

今年度見直す長島町地域防災計画に、情報収集をして掲載しようと考えている。

## 磯焼け浜の再生を

**上筋議員** あえて「浜」をつけたのは、かつては豊饒の浜であったときの浜の暮らしを含めた意味である。

平成14年頃、磯は生きていた。ヒジキ狩りに集落で取り組み、うにの水揚げも楽しみであった。今はされておらず、対策が急がれる。神奈川県の水産技術研究所で厄介者のうに

に、キャベツを与えて養殖する試みがあると聞き研修してき

た。本町でも浜の再生に向け取り組んで、うにの養殖を

取り上げてはどうか。

**町長** 今まで磯焼け対策や、うに駆除対策については、水産商工課を中心に何度も行ってきた。

現在、養殖希望者がいないので、具体的な地域があれば、その方々と話し、試験・研究価値の手ごたえがあれば、実証実験をしていいのではないかと。



↑磯焼け前と磯焼け後の比較



## 町有地の有効活用について問う

きないか伺う。

### 古田議員

長島中学校上の土地は、数十年前まで教職員住宅があったが、その後取り壊され、現在は更地である。町で管理されているが、跡地活用がなされていない。

この場所に若い方が住めるような環境にで

町の現状は。

特別支援教育は、平成19年度の学校教育法の改正で、学習過程で想定される子どももの困難さごとに、指導の工夫を示すことになっている。

支援を必要とする子どもも年々増えている状況であり、それに対する特別支援員の必要性を強く感じている。

労働条件、賃金体制など、他の市町村と比較しても長島町が一番悪い条件である。見直しも含め、今後どのように考えているか伺う。

**町長** 長島中学校上の土地は、現在筆界未定地である。また、急傾斜地崩壊危険箇所に指定されている場所であり、住宅地には不適地であると考えている。県と現地確認をして入会林野整備事業等で登記可能であることから、対応策を考えていく。

## 学校特別支援員の現状を問う

### 古田議員

近隣市町村の労働条件などに対し

**教習長** 平成19年4月から特別な支援や配慮を必要とする児童生徒等の教育充実を図るため、適切な特別支援教育を行うことが明確に位置づけられてきた。

支援員の勤務日数は、年間の総授業日数

をもとに配置している。賃金体制については、特別支援教育設置要綱に基づいて支給している。

年々支援を必要としている子どもが増えている。次年度に關しては支援員に対する労働条件など検討していく。

## 財政援助団体への補助金交付のチエック体制は

### 古田議員

補助金は町民の税金の一部である。

- ①補助団体から運営事業補助金要望書が出された際、前年実績を把握され、それをもとに交付されているか。
- ②補助金交付後の確認はどのようにしているか。

### 町長

①90団体に補助金を支給。予算編成時

や、交付申請時に適正に審査した上で交付している。

補助金は全て透明化する必要がある。項目ごとに前年度の補助金に対する実績を明確に審査するよう、各担当課に指示し、チエック体制の強化に努める。

②例えば水産加工グループ育成事業では、平成24年度から助成しており、年間の収支決算書を提出してもらい、実績を確認している。



↑有効活用が望まれる旧教職員住宅敷地（黄色の点線で囲まれた部分）

池田 安彦 議員



## 水産種苗センターの今後の取り組みを問う

**池田議員** 本町の産業は1次産業の農林水産業が主体である。特に、主幹産業である水産業については、魚類養殖を初めとして漁船漁業、アオサ養殖などがある。

魚類養殖では、この頃、ブリだけでなく、マダイの養殖も増えつつある。

その稚魚については、種苗センターや他の産地より取り寄せ、どうにか確保しているが、輸送費等による1

尾当たりの単価が高くなる傾向にある。

そこで、種苗センターだけでタイの稚魚を確保できたら、長島生まれの長島育ちとしてブランド化できると考える。

種苗センターの今後の取り組みを問う。

また、長島町水産振興に關する包括的連携協定を東



↑種苗センター

町漁協と東海シープロと締結したと聞いたが、それについても問う。

**町長** 今後は長島町水産振興推進協議会において、実施計画や管理体制等について協議、検討していきたい。

本年11月1日に本町と東町漁協、東海シープロ株式会社との3者で長島町水産振興に関する包括的連携協定を

締結した。

## 獅子島に救命救急艇を導入できないか

**池田議員** 獅子島は本町唯一の有人離島であるが、道路や港湾、教育の現場等も大分整備された。また、島民も人口減少の中、日々頑張っているところである。

しかし離島が故に、大きな問題や課題も数多く残っている。なかでも、1番は救急医療の問題である。

急病や怪我が起こった際、救急車ですぐ対応できればいいが、救急車へ搬送するまでに



↑熊本県天草市御所浦町の救命救急艇



↑医療機器の整った船内

は30分以上かかる。

その間、救命救急艇があったら医療機器のお陰で命が助かる。あるいは救急な対応や処置ができると考える。

この救命救急艇については、近隣の熊本県天草市御所浦町では既に導入している。

そこで、この救命救急艇の導入検討はできないか。

**町長** 獅子島地区においては、今年度応急手

当を行うファーストレスポンドー隊を結成している。

救命救急艇を導入するとすると経費の面、維持管理の面、操縦の面および資材器具の使用など数多くの問題がある。

救命救急艇の導入については財源の問題や分署の設置、職員配置など、今後様々な問題点があるので研究していきたい。

## 小田 勝志 議員



### 119番通報について

**小田議員** 平成28年12月定例会において、新東分遣所整備工事に非常用緊急通報システムの導入を行うとの町長の答弁。

今年8月の臨時会で消防無線多重化等整備工事約1億3百万円。詳細な内容として、①31年2月完成、4月竣工予定の新東分遣所に、緊急通報（通話位置確認）システムは導入されているのか。②近年増え続けている外国人であるが、長島

町においても現在、ベトナム、フィリピン等、8カ国の方々が在住されている。外国人からの119番通報への対応ができる民間の通訳センターの導入の考えはないか。

**町長** ①今回の工事は島内での消防救急隊員の通信手段である無線工事である。消防組合の広域的連携を含めた非常用緊急通報システムの導入は、平成35年を目



↑現在の東消防分遣所の指令室

途に考えている。

②近隣の消防本部でも外国人からの119番通報対応について、通訳を交えて通話ができる3者間通話サービスの導入を検討している。阿久根地区消防組合でも平成31年度当初予算へ計上予定となっている。

### ふるさと納税について

**小田議員** ふるさと納税は、好みの自治体に

寄付すると、自己負担の2千円を除いた額が住民税などから差し引かれる制度。

①昨年度の寄付金額はいくらか。

②今年度の寄付予想額はどれくらいを目指しているか。

③長島町の返礼品の中に、ふるさととの繋がりを深める意味から、空き家管理、墓守のサービスを加える考えはないか。

**町長** ①昨年度のふるさと納税寄付額は、全国3万人から3億2千万円の寄付があった。②今年度の寄付額は11月末時点で約1億1千万円。厳しい状況ではあるが、昨年度と同様の3億円を目指す。



↑ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」での掲載の一部

③返礼品の公募を行い、見直しを図りながら長島ならではの特色ある返礼品の取り扱いを入れる。

空き家管理・墓守は、関東・関西ながしま会にアンケート調査を行い、結果をもとに検討する。

### 雇用対策について

は多大であるが、各事業所では継続雇用、定年制の廃止等を取り入れ、事業を継続している。定年について高齢者雇用安定法の改正等もあり、雇用年齢が引き上げられている。

①職員の任用及び臨時職員等の雇用は何歳を目途にしているか。

②各事業課採用の作業員の年齢制限の有無は。

**町長** ①一般事務職Aが35歳以下、夢追い元気枠が59歳以下である。

臨時職員は職種でも違いがあるが、60歳未満で募集をしている。平成32年度より会計年度任用職員に移行するため臨時職員職種はなくなる。

②各事業課の作業員は、募集時には年齢制限はない。健康状態をみながら雇用をしている。

兒玉 誠議員



### 長島版総合戦略の状況は

達成状況と最終年度の重点政策は何か

兒玉議員 平成27年、長島版総合戦略を定め、長島ブランドの確立と交流人口の増加を最優先にしたプロジェクトを推進し、4年が経過しようとしている。

平成29年には中間成果として取りまとめ、プロジェクトの件数69件のうち着手済みが61件、経済波及効果2億5600万円、交流人口2千人、メディアで

効果と見直しも含めた効果検証の必要性から、今年7月に総合戦略の事業効果検証委員会を開催し、評価・検証を実施している。同委員会では事業達成状況や政策評価の観点から、住民ニーズが高いもの、効果が高かったものなどの事業仕分けが必要であるとの意見をいただいている。

これら意見をもとに事業を精査し、次の政策に反映できるように取り組んでいきたい。

最終年度を迎えるに当たり、現在の達成状況をどのように捉えているか。また、平成31年度が最終年度となるので、仕上げの重点施策は何か。

町長 総合戦略の達成状況については、ほぼ全ての事業において一定の成果を出している。

総合戦略策定から3年が経過した今、策定

効果と見直しも含めた効果検証の必要性から、今年7月に総合戦略の事業効果検証委員会を開催し、評価・検証を実施している。同委員会では事業達成状況や政策評価の観点から、住民ニーズが高いもの、効果が高かったものなどの事業仕分けが必要であるとの意見をいただいている。これらの意見をもとに事業を精査し、次の政策に反映できるように取り組んでいきたい。地域おこし協力隊の定住見込みと今後の活用策は

わかに脚光を浴びることになるであろうバレイシヨの種苗生産、水産養殖業、商工観光関連事業等の各団体と連携して、もっと広く多くの方を受け入れる考えはないか。

町長 定住が理想であると考えているが、本人や家族等の問題もある。定住に向けた環境整備を検証したい。

今、農業、漁業、同じ産業を興すにしても労力が少ないといった話も聞いているので、

町長 定住が理想であると考えているが、本人や家族等の問題もある。定住に向けた環境整備を検証したい。

町長 定住が理想であると考えているが、本人や家族等の問題もある。定住に向けた環境整備を検証したい。

町長 定住が理想であると考えているが、本人や家族等の問題もある。定住に向けた環境整備を検証したい。

今後は、そういった分野で力を発揮できる人々を募集していくことと一つの方法であると認識している。

次期戦略の策定方針は

町長 来年度で現計画期間の5年間で終了し、総括をされると思うが、2020年度以降の総合戦略策定方針と戦略の中で「高齢者が輝くまち」を目標としたプロジェクトを盛り込む考えはないか。

町長 来年度で現計画期間の5年間で終了し、総括をされると思うが、2020年度以降の総合戦略策定方針と戦略の中で「高齢者が輝くまち」を目標としたプロジェクトを盛り込む考えはないか。

町長 来年度で現計画期間の5年間で終了し、総括をされると思うが、2020年度以降の総合戦略策定方針と戦略の中で「高齢者が輝くまち」を目標としたプロジェクトを盛り込む考えはないか。

町長 来年度で現計画期間の5年間で終了し、総括をされると思うが、2020年度以降の総合戦略策定方針と戦略の中で「高齢者が輝くまち」を目標としたプロジェクトを盛り込む考えはないか。

町長 現在取り組んでいる定住促進空家活用事業や観光事業、教育事業など地域住民のニーズに適した事業を構成し、長期にわたり効果が発揮できる事業など総合戦略策定委員会に諮り、新たな行政課題にも対応できる総合戦略を策定したい。

町長 来年度で現計画期間の5年間で終了し、総括をされると思うが、2020年度以降の総合戦略策定方針と戦略の中で「高齢者が輝くまち」を目標としたプロジェクトを盛り込む考えはないか。

町長 来年度で現計画期間の5年間で終了し、総括をされると思うが、2020年度以降の総合戦略策定方針と戦略の中で「高齢者が輝くまち」を目標としたプロジェクトを盛り込む考えはないか。

町長 来年度で現計画期間の5年間で終了し、総括をされると思うが、2020年度以降の総合戦略策定方針と戦略の中で「高齢者が輝くまち」を目標としたプロジェクトを盛り込む考えはないか。

町長 来年度で現計画期間の5年間で終了し、総括をされると思うが、2020年度以降の総合戦略策定方針と戦略の中で「高齢者が輝くまち」を目標としたプロジェクトを盛り込む考えはないか。

町長 来年度で現計画期間の5年間で終了し、総括をされると思うが、2020年度以降の総合戦略策定方針と戦略の中で「高齢者が輝くまち」を目標としたプロジェクトを盛り込む考えはないか。



↑地域おこし協力隊が中心となって製作された映画「夕日のあと」

## 竹山 司郎 議員



### 小中学校施設整備を早急に

**竹山議員** 先日、町内の各小中学校を訪問し、学校施設の状況を確認してきた。校長等に聞き取りをしたところ、修繕すべき箇所が多いように感じた。

①例えば腐食が進んだサッカーゴールや錆が混じった水道については、児童生徒の生命が懸念される懸案事項である。

他にも、校庭や体育館、武道館など、老朽化による修繕すべき箇所が多い。

児童生徒の安全のため、早急に修繕できないか。

②校長室は学校で中心となる一番重要な場所である。来客があつたときに、床がぶわぶわしているようでは、学校のみならず、長島町の印象が悪くなりかねないが、校長室を早急に修繕できないか。

**町長** ①本町の小中学校の校舎は、一番古い教室等が昭和39年建築であり、全体的に老朽化していることは認められる。

破損した箇所は、児童生徒にとって危険な場所から優先的に修理

を実施している。

②これからの数年、町では大型事業が目白押しで、財源をいかに確保するかが至上命題となっている。

そのような中で、対外的なものを重視するのか、児童生徒の安全を重視するのか、教育委員会と協議する。

**教育長** ①各学校の破損箇所の修理等は、毎年、各学校から予算要求として上がってきたものについてヒアリングを行っている。その上で危険箇所を優先的に修理している。

平成31年度についても、同様の考えである。また、各学校に学校予算として修繕費が組まれているので、予算の範囲内で執行することができるとができる。

②指摘のあった校長室は現地確認させてもらった。新年度予算の

要求はしたが、財政面の問題もある。

### 針尾公園整備を問う

**竹山議員** 長島への訪問者から、「長島には観光地が少ない」との声を聞くことがある。そこで、景色がいい針尾公園から竹島にロ

プウェイを架け、長島にもこれという観光地をつくれぬか。

**町長** 針尾公園から竹島までの延長が約1,200メートルで61億円かかるので厳しい。

風景を生かした記念撮影や、造形美術展の展示場など、他の方法で訪問者が喜ばれるよう努めた方がいいと考える。

### 甘薯の貯蔵庫整備に補助を

**竹山議員** 先日、議員研修で茨城県行方市なめがたを訪問した。そこで、温度や湿度管理をすることで、サツマイモが芽せず、長期間貯蔵ができるシステムについて学んだ。

本町でもこの先進的な貯蔵庫整備に補助する考えはないか。



↑針尾公園から竹島を望む

**町長** 国庫補助事業を導入する場合、5戸以上の農業者が貯蓄する団体で、補助率は2分の1以内となる。

また、県単事業を導入する場合は、3戸以上の農業者が組織する団体で、補助率は3分の1以内となっており、優先順位として、国庫補助の導入が困難な場合に県単事業に要望することができる。

# 2つの委員会での議案等審査

2つの常任委員会にて議案等を審査  
各常任委員会の主な審議内容を紹介

## 総務民生常任委員会 委員長 林 誠治

### ●一般会計補正予算

**▼総合管理課関係**  
**問** 賃金77万7千円増額補正の内容は何か。  
**答** 登記関係事務員3名分の改定額と臨時職員1名増員分である。

**答** 固定費は東・長島分遣所、共通費は阿久根地区消防組合の全体経費として使用する負担金である。

### ▼総務課関係

**問** 財産管理費の土地購入費1657万1千円の内容は何か。  
**答** 土地開発基金で購入した指江、唐隈の土地を買い戻して有効活用する。

**▼企画財政課関係**  
**問** 片側テレビ共同受信施設の改修費用を町が負担する理由は。

**▼介護環境課関係**  
**問** 塵芥処理費約3700万円の減額理由は。

### ▼福祉事務所関係

**問** 阿久根地区消防組合負担金の固定費と共通費が補正されているが、その違いは何か。  
**答** 補助金の交付決定理由は。

**▼国民健康保険特別会計補正予算**  
**問** 川床・風の杜こども園（認定こども園）の施設整備補助金を1億6千万円ほど減額した理由は。

**●条例改正関係**  
**問** 長島町農業委員会委員の定数を19人から15人に、農地利用最適化推進委員8人以内を11人に定数を変更する理由は。

### ▼環境課関係

**問** 北薩広域行政事務組合が行った「新焼却施設」の入札執行残金を減額したものは。

**▼委員会所見**  
現在、建設中の「東消防分遣所」と同じ敷地の防止対策、農地の集約化を推進する現場活動推進委員を強化するため改正する。

**▼委員会所見**  
現在、建設中の「東消防分遣所」と同じ敷地の内に建設予定の「鷹巣診療所」においては、医療と救急業務が良好に連携し、「町民の利便性向上最優先となる整備を望む」との意見であった。

### ●条例改正関係

**問** 長島町農業委員会委員の定数を19人から15人に、農地利用最適化推進委員8人以内を11人に定数を変更する理由は。

**答** 遊休・荒廃農

算。現時点で受診者増により、医療費不足が見込まれているため。

**問** 医療費抑制には、病气予防事業の充実が求められるが、特定検診の受診率の推移はどうか。

**答** 特定検診の受診率は年々低下している。特に、40歳代の若い世代が低い。

↑東消防分遣所と同じ敷地内に診療所が建設される予定



## 建設経済文教常任委員会 委員長 小田 勝志

### ●一般会計補正予算

#### ▼水産商工課関係

**問** 指江地区コンビニ設置の公募に何件の応募があったか。また場所が決まったか。

**答** 1件の応募があり、現在審査中である。場所は指江庁舎敷地内である。

**▼景観推進課関係**  
**問** だんだん市場の横断歩道の設置箇所は。

**答** また、現在の進入路を封鎖した場合、両側の歩道と花壇を取り除き、駐車場として活用できないか。

**問** 造形展示場は移設するの。

**答** 既存の横断歩道を除去し、新設の信号機の周りに2箇所設置する。

既設の花壇、歩道は

補助事業で整備した関係で、設置後10年経過後の32年度以降に駐車場として整備予定。

**問** 造形展示場は移設しない。

**答** 委託先は農林課内の関西かごしまファンデー実行委員会である。収入は委託料200万円のうち、約100万円が町内の特産品購入額で、会場にて同額の商品売上の収入額を見込んでいる。

#### ▼耕地課関係

**問** 単独過疎債事業の3件の工期はいつまでか。

**答** 平成31年3月30日前後を目途にしている。間に合わない場合は、繰越も検討する。

#### ▼建設課関係

**問** 今回の発注路線の内、繰越工事の考えはあるか。

**答** 過疎債事業の蔵之元浜瀬線、広野汐見線、矢堂中央線、川床毎床線の4路線は繰越の予定。

#### ▼農林課関係

**問** 関西かごしまファンデーの委託先と販売収入について。また産地パワーアップ事業の当初予算と確定額はいくらか。

**答** 委託先は農林課内の関西かごしまファンデー実行委員会である。収入は委託料200万円のうち、約100万円が町内の特産品購入額で、会場にて同額の商品売上の収入額を見込んでいる。

**問** 産地パワーアップ事業は当初予算5億3640万円であったが、確定額4億6519万円となり、7121万円の減額となった。

**問** 学校教育課関係  
**問** 中学校管理一般経費の指導用教科書の財源で、へき地生徒援助等補助金があるが、それが指導用教科書に充当されるのか。

**答** 来年度に中学校の道徳が教科化され、先生方への指導教科書の予算であるが、中学校管理費のへき地医師等派遣事業及び心臓検診事業に充当するもので、教員用教科書への充当ではない。

#### ▼教育総務課関係

**問** 片側テレビ共同受信施設改修に伴う負担金は、教職員住宅何戸分の負担金なのか。

**答** 教職員住宅8戸分である。

#### ▼水道課関係

**問** 合併浄化槽の設置戸数の減少理由は。また、設置基数の当初計画、現況の設置基数は何基か。

**答** 本年度は骨格予算による執行により、工事等がずれ込み、設置率が追いつかない状況である。

**問** 本年度は骨格予算であったが、今年度73基の見込みとなるため、約40基の減少になる。

**答** 当初111基の計画



↑信号機の設置に伴い横断歩道も設置されるだんだん市場の交差点

## 廃校跡地と 国営公園を視察研修

副議長 古田 一博



### ● 研修第一

#### 道の駅 保田小学校

千葉県安房郡鋸南町  
にある道の駅保田小学校は、平成26年に廃校になり、翌年12月に「都市交流施設 道の駅」として生まれ変わった学校である。農林水産省が進める農山漁村の活性化施策に基づき、都市との交流点を目指す施設として設けられた。

小学校の雰囲気を残しながら、リノベーションを実施。体育館が直売所へ、教室が複合的商業施設や地元の人々の交流空間、公共施設（災害時の避難場所）、観光案内所へと新たな役割を担っている。

町の予算が42億円しかないなか、施設改造費が12億円と単年度で実施したことに驚かさ

長島町議会は、10月29日から31日までの3日間、都市交流施設「道の駅 保田小学校」と「なめがたファーマーズヴィレッジ」、「国営ひたち海浜公園」を視察研修した。今回の研修は、「廃校となった学校の活用策について」、「景観づくりの発展について」の2点を目的とした。

れた。

しかし、開所以来、毎年6億円の売り上げがあり、投資効果が表れている。

運営は指定管理となっており、(株)共立メンテナンスが廃校前から計画された公開プログラムを審査を経て指定管理者に決定した。

町からの指定管理料は1年目が1000万円、2年目が500万円、3年目は無料での契約であった。加えて売り上げの20%を町に還元しているそうである。支配人の力量が大きく影響していると感じた。

長島町においても、地の利を負とせず、地域の特色を生かして、透明化を図り事業を展開していくべきである。



↑旧体育館は直売所に



↑道の駅 保田小学校



↑2階の旧教室は宿泊施設、廊下は憩いの空間に



↑1階の旧教室は食堂や雑貨屋、交流空間に

## ●研修第二

### なめがたファーマーズ ヴィレッジ

茨城県行方市なめがたは平成17年に3町が合併し、人口35,000人、基幹産業は農業で、農水産物の生産が中心である。

少子高齢化、人口減少により、小学校の統廃合が進む。廃校になった小学校を活用するために、民間6社のプロポーザルにより、白ハトグループに決定。

霞ヶ浦と北浦の2つの大きな湖と、美しい緑、澄んだ空気、新鮮な野菜。サツマイモにおいては日本有数の産地である行方市に、3年前に体験型農業テーマパークとして誕生。「日本の農業を素敵にしよう」を合言葉に、行方市、JAなめ

がた、白ハトグループが手を取り合い、焼き芋ファクトリーミュージアムやサツマイモ工場、農業体験、手作り体験教室、レストラン、カフェなどが一堂に集結している。

なかでも、ヴィレッジ内の農園や、農家から直送されるこだわり野菜をふんだんに使ったイタリアンレストランは客が多く、行列ができるほどの人気店であった。

ここに商品を出している生産者の方は高齢者が多く、耕作放棄地を開墾し、畑にして経営している。

売れ残った食材などは、加工してカレーやパンに混ぜたりして有効活用していた。また、この施設は従業員のための保育園も完備されていた。



↑なめがたファーマーズヴィレッジ



↑焼き芋ファクトリーミュージアム



↑手作り体験教室中の親子

## ●研修第三

### 国営ひたち海浜公園

公園は総面積350㏎で、四季折々の花を堪能することができ。視察は短時間であったため、「みはらしの丘」でコキア（ほうき草）とコスモスを見学した。



↑国営ひたち海浜公園（赤色がコキア、桃色がコスモス）

多数の入園者とその規模の大きさに圧倒された。



↑関東地区3箇所を視察研修

## ●まとめ

2つの廃校跡地を利用した研修をして感じたことは、廃校になつてから何を考えるのではなく、廃校前に次に「何をするか、何をしたいか」を十分に論議するなどの準備が必要だと強く感じた。

また、景観整備については、現在、町でも花の端境期はざかいぎがないような計画がされているが、毎床や行人岳、春木ヶ丘等の町有地にコキアを植栽して、秋の紅葉を楽しめる核となる公園にすべきではないか。

我々議員は、この研修を生かして議員間の議論を大いに深めると共に、政策提言能力を高めてこれからも町政に反映していきたい。

# 決算特別委員会

平成30年第3回長島町議会において、決算特別委員会に付託された平成29年度長島町決算の認定について、一般会計及び各特別会計の13会計について、10月9日から15日まで、現地調査を含め実質5日間、全委員で審査を実施した。

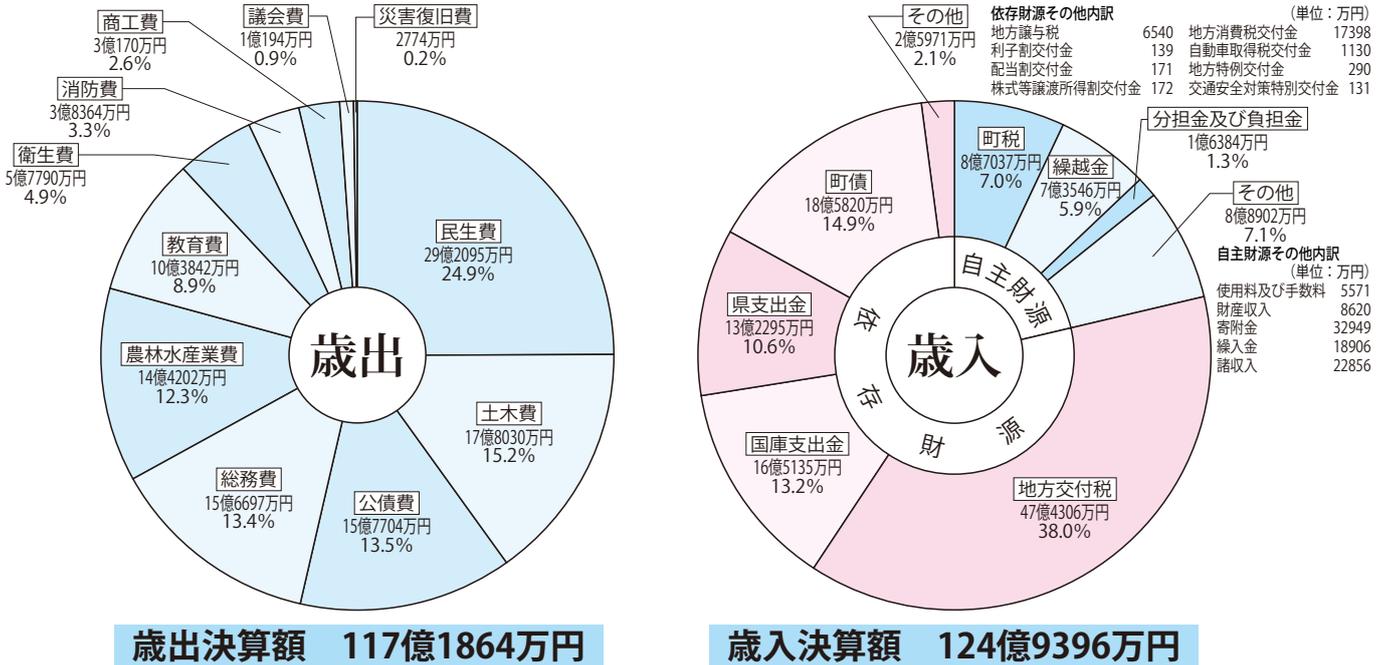
審査に当たっては、予算が議決された目的に従って適正かつ効率的に執行されたか。それによってどのように行政効果が発揮できたか。また、今後の行政運営においてどのような改善、工夫がなされているかを主眼として審査を行った。



↑書類審査する決算特別委員会

## 一般会計の決算状況

第1表 一般会計歳入・歳出の状況



歳出決算額 117億1864万円

歳入決算額 124億9396万円

### 主な用語の解説

- 歳入 会計年度における地方自治体等の収入
- 町税 町民税・固定資産税などの税収入
- 線越金 前年度から繰り越したお金
- 分担金及び負担金 町が行う特定事業により利益を受けた方から負担していただくお金
- 使用料及び手数料 「使用料」公共施設などを利用した方から負担していただくお金
- 「手数料」特定の方への行政サービスに対して負担していただくお金
- 歳出 会計年度における地方自治体等の支出
- 民生費 子ども、高齢者、障がい者などの福祉全般の事務・事業に使うお金
- 土木費 道路、公園整備などに使うお金
- 公債費 町債を返済するために使うお金
- 総務費 人事、企画、財政、戸籍統計や交通安全などに使うお金
- 農林水産業費 農業、林業、水産業振興に使うお金
- 農林水産業費 農業、林業、水産業振興に使うお金
- 寄附金 町民などが無償で町に提供してくるお金
- 繰入金 他の会計や基金から繰り入れるお金
- 地方交付税 町の財政状況に応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金 特定の事業のために国や県から支出されるお金
- 町債 大きな事業などを行うために町が借り入れるお金
- 教育費 学校運営の費用や生涯学習、スポーツなど教育全般の事務・事業に使うお金
- 衛生費 保健衛生や公害対策など安全で衛生的な生活のために使うお金
- 消防費 消防、防災事業などに使うお金
- 商工費 商工振興、観光振興などに使うお金
- 議会費 議会活動に使うお金
- 災害復旧費 暴風、地震その他の災害によって生じた被害を復旧するためのお金

※第1表の金額は、各項目とも円単位で計算した額を万円未満四捨五入して計上しているため、合計金額が一致しない場合がある。

# 平成29年度各会計 歳入・歳出決算を認定

## 決算審査での主な意見

① だんだん市場は、町の財源によつて施設の充実を図り、公募によらない指定管理で8年が経過している。

今後、施設等が老朽化してくれば修理を町に依存してくることから、利益のあるうちに基金等を創設するような方向で指導して欲しい。

② レジャーランド太陽の里特別会計は、歳入総額1億891万円に対し、歳出総額1億1043万円で実質収支は152万円の赤字となった。そのため、30年度会計から繰り上げ充用しているが、次年度も繰り返すようなことがないよう、本年度は売上げを伸ばすよう努めて欲しい。

③ 畑作農産加工センター（サメシマフーズ）と農産物処理加工施設（東町産業開発）には、毎年1000万円以上の修繕工事をしているが、今後は「政策審議会」で十分検討し、委員会等を設置の上、運営方針を定めて欲しい。



↑長島港（口之福浦地区）を現地調査

第2表 特別会計の収支の状況

(単位：円)

区 分	歳入総額	歳出総額	翌年度へ繰越べき財源	実質収支額	単年度収支
国民健康保険特別会計	2,551,733,764	2,252,391,525	0	299,342,239	205,924,961
国民健康保険診療施設特別会計	431,904,017	428,831,164	0	3,072,853	△ 26,673,793
へき地診療施設特別会計	60,149,322	52,196,431	0	7,952,891	1,337,519
介護保険特別会計	1,323,204,104	1,288,991,605	0	34,212,499	△ 1,953,071
簡易水道特別会計	670,326,948	625,262,732	0	45,064,216	3,425,023
諸浦港埠頭特別会計	9,506,911	4,159,021	0	5,347,890	193,405
農業集落排水特別会計	51,507,946	50,264,282	0	1,243,664	△ 1,294,692
漁業集落環境整備特別会計	42,995,303	41,566,658	0	1,428,645	417,862
特定地域生活排水処理特別会計	42,921,194	42,160,280	0	760,914	△ 618,240
水産種苗供給特別会計	31,701,073	25,471,130	0	6,229,943	1,165,870
後期高齢者医療特別会計	135,069,019	134,580,024	0	488,995	304,387
太陽光発電特別会計	175,287,321	98,057,632	0	77,229,689	1,846,855
レジャーランド太陽の里特別会計	108,901,315	110,493,287	0	△ 1,591,972	△ 2,346,955
合 計	5,635,208,237	5,154,425,771	0	480,782,466	181,729,131

# 国へ6項目の 要望書を提出

長島町議会は1月16日から17日にかけて、議長をはじめ副議長、各常任委員長が上京し、町と連携して要望活動を行った。

国土交通大臣や総務大臣のほか、関係各省庁を訪問し高度無線環境整備や診療所建設の補助制度見直しなど6項目の要望書を手渡した。



↑概要を説明後、要望書を手渡しする議長、町長ら

## 要望項目

- 獅子島架橋建設について
- 高度無線環境整備推進事業について
- 診療所建設の補助制度見直しについて
- 社会資本整備総合交付金事業の拡充について
- 長島港及び獅子島港の整備に必要な交付金事業の予算枠の拡充について
- 農業農村整備事業の推進について

## 議会のうつき

### 10月

- 5日 3市2町医療体制確保推進協議会（薩摩川内市）
- 9日 決算特別委員会
- 15日 第1回広報特別委員会
- 16日 出水地域開発促進協議会県知事及び県議会議長への要望（鹿児島市）

### 11月

- 1日 町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会（東京都）
- 3日 長島町総合文化祭
- 4日 北薩地区植樹祭（出水市）
- 6日 監査委員による定期監査（15日まで）
- 8日 出水地区市町議会議長会（長島町）
- 9日 第4回議会臨時会
- 12日 町村議会議長会理事会（鹿児島市）
- 13日 南九州西回り自動車道建設促進大会（東京都）
- 16日 第49回定期総会（全国過疎地域自立促進連盟）（東京都）
- 15日 天草・長島架橋建設促進期成会中央要望（東京都）
- 17日 監査委員による備品監査
- 18日 第63回長島一周駅伝競走大会
- 19日 関東ながしま会（東京都）
- 20日 平成30年度離島振興議長全国大会（東京都）
- 22日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 25日 おさかな祭り
- 26日 例月現金出納検査
- 27日 離島町村議会議長行政調査（種子島）

### 12月

- 1日 長島フェスタ
- 2日 第4回議会定例会のための議会運営委員会
- 3日 「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅整備促進協議会第1回協議会（阿久根市）
- 6日 第4回定例会開会（18日まで）
- 7日 例月現金出納検査
- 20日 獅子島地域の産業の振興に関する座談会
- 21日 北薩広域行政事務組合議会第4回定例会（1月8日まで）（出水市）
- 25日 阿久根地区消防組合議会定例会（阿久根市）
- 27日

## 編集後記

昨年度の漢字に「災」が決まった。地球温暖化による異常気象の影響で、西日本豪雨災害、北海道地震、台風の影響など、日本各地で災害が頻発した。なかでも、これまでに経験したことがない最高気温の更新と、環境の変化を感じさせられた一年であった。

平成の年号もあと数ヶ月。去りゆく時代の中で歴史の重みをかみ締め、新しい年号への期待を込めたい。

12月定例会が7日から18日まで12日間の会期で開催され、補正予算の審議や9名による一般質問、各常任委員会による審議等、活発な意見が交わされました。

開かれた議会、町民と共にあるべき議会として、今後も取り組んでいきます。（小田）

## 【発行責任者】

議長 林 義明

## 【編集】

議会広報特別委員会

委員長 兒玉 誠  
副委員長 上筋 睦雄  
委員 二階堂 猛  
小田 勝志  
林 誠治

